

授業科目名	保育内容表現Ⅱ	担当教員名	白波瀬 達也
必修/選択	必修(幼稚園教諭2種免許/保育士資格)	開講学年・学期	2年 通年(年間開講数 1講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
	保育の内容・方法の理解に関する科目(別表1/2)	特記事項	※「保育内容演習」の指導内容を含む
授業の到達目標	<p>1-保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)</p> <p>(1)各領域のねらい及び内容:幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。</p> <p>①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。</p> <p>②当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。</p> <p>③幼稚園教育における評価の考え方を理解している。</p> <p>④領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</p> <p>(2)保育内容の指導方法と保育の構想:幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>①幼児の認識・思考・動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</p> <p>②各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。</p> <p>③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</p> <p>④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</p> <p>⑤各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p> <p>2-保育内容演習</p> <p>(1)養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。</p> <p>(2)子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点(「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものと関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域(「健康・人間関係・環境・言葉・表現」)を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について具体的に理解する。</p> <p>(3)上記2に示した保育の内容の視点及び領域を踏まえて、子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えたとともに、保育に当たって保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。</p> <p>(4)子どもの発達過程に即して具体的な保育場面を想定しながら、環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)の実際について理解する。</p>		
授業の概要	<p>子どもの造形表現に関する知識を発達過程を踏まえて学習します。また、創作絵本作画を通して感じたことや考えたことを自分なりに表現することや豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすることを身に付けます。さらに発達の特徴を踏まえた上での指導のあり方を探っていき、モノづくりが子どもたちにとって何をもちたずもののかを考える。素材、用具、道具を使いこなす中で保育現場で展開できる実技活動を行います。</p>		
テキスト	「新造形表現 理論・実践編」花篤貴・岡田悠吾編(三見書房)		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)、必要に応じて配布する		
成績評価の方法	受講態度50% 課題提出50%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	乳幼児の造形について 保育指針、幼稚園教育要領、領域「表現」のねらい及び内容の理解する。	(1)-①,(2)-①	
第2回	乳幼児の造形表現の発達のためにICTの活用 ICTを活用した乳幼児の造形表現活動を画像などや事例から造形の発達過程を中心に理解を深める。	(1)-①,(1)-④,(2)-①,(2)-②	
第3回	造形活動の指導と評価について 領域「表現」のねらい及び内容ともに保育案を作成できるようにICTを活用して活動内容を考える。	(1)-③,(2)-①,(2)-②,(2)-③	
第4回	創作絵本作画の基本 乳幼児に向けた題材の検討、レイアウトの作成を行う。	(1)-①,(2)-①	
第5回	創作絵本作画の応用①-場面の構成 レイアウトを基に素材の検討して場面の構成を考える。	(1)-①,(2)-①	
第6回	創作絵本作画の応用②-検討 レイアウトを基に素材の検討して場面を完成させていく。	(1)-①,(2)-①	
第7回	創作絵本作画の応用③-気づき 乳幼児に向けた題材を基に制作過程で起こる問題点を見つける。	(1)-①,(2)-①	
第8回	創作絵本作画の応用④-問題解決 乳幼児に向けた題材を基に制作過程で見つけた問題点を解決する。	(1)-①,(2)-①	
第9回	創作絵本作画の応用⑤-場面の再検討 乳幼児に向けた題材を基に制作していきながら再検討する。	(1)-①,(2)-①	
第10回	創作絵本作画の応用⑥-確認 乳幼児に向けた題材を基に制作してきた絵本を確認する。	(1)-①,(2)-①	
第11回	創作絵本作画の応用⑦-絵本の構成 表紙のデザインと制作する。	(1)-①,(2)-①	
第12回	創作絵本作画の応用⑧-製本作業 ハードカバーの作成と場面を貼り合わせたものを基に製本する。	(1)-①,(2)-①	
第13回	創作絵本作画の応用⑨-最終確認 乳幼児に向けた題材を基に制作してきた創作絵本を完成させる。	(1)-①,(2)-①	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第14回	造形の素材と用具について 乳幼児の造形表現活動で用いる素材と用具を画像などの事例を基に理解を深める。	(2)-⑤
第15回	ICTの活用と総括 ICTの活用して創作絵本発表会でまとめを発表する。	(1)-①,(2)-②
定期試験	作品提出	
第16回	描画材を用いた活動①－パス パスを用いた乳幼児の描画活動について理解する。	(1)-②,(1)-④
第17回	描画材を用いた活動②－絵の具 絵の具を用いた乳幼児の描画活動について理解する。	(1)-②,(1)-④
第18回	描画材を用いた活動③－マーカー マーカーを用いた乳幼児の描画活動について理解する。	(1)-②,(1)-④
第19回	造形活動の指導について 乳幼児の造形表現活動を事例をも基に保育案を作成する。	(1)-④,(2)-①,(2)-③
第20回	かく活動の実践と検討①－マーカーを用いて 画像などの事例をも基に幼児の造形活動を行う。	(1)-①,(2)-②
第21回	かく活動の実践と検討②－仕掛けをきっかけに 画像などの事例を基に画用紙に仕掛けをつかったものをきっかけに幼児の造形活動を行う。	(1)-①,(2)-②
第22回	かく活動の実践と検討③－パス パスを用いて画像などの事例をも基に幼児の造形活動を行う。	(1)-①,(2)-②
第23回	素材の研究と実践①紙について 紙の感触の変化を味わい幼児の造形活動を考える。	(1)-①
第24回	素材の研究と実践②色について 色水の変化を味わい幼児の造形活動を考える。	(1)-①
第25回	感触あそびの実践と検討 感触を味わい幼児の造形活動を考える。	(2)-②
第26回	模擬保育の実践①－3歳児 3歳児の造形に関する模擬保育案を作成し実践する。	(1)-②,(2)-③,(2)-④
第27回	模擬保育の実践②－4歳児 4歳児の造形に関する模擬保育案を作成し実践する。	(1)-②,(2)-③,(2)-④
第28回	模擬保育の実践③－5歳児 5歳児の造形に関する模擬保育案を作成し実践する。	(1)-②,(2)-③,(2)-④
第29回	ふりかえり造形に関する模擬保育 実践後のふりかえり、ファイルを完成させる。	(2)-①,(2)-⑤
第30回	まとめ 「保育内容（表現Ⅱ）」で行ってきた内容をまとめる。	(2)-①,(2)-⑤
定期試験	作品提出	